

滑川市 防災マップ

中加積地区

家族や自主防災会・町内会で話し合って決めた避難場所等を書いておきましょう。

私たちの一時避難場所*は	※一時避難場所とは災害発生時に、少しでも安全な公共の場所に避難し、自主防災会・町内会において安否確認や初期消火、応急・救護活動などの自主防災活動を実施するための組織化を図る場所です。
私たちの避難場所は	
私たちの避難施設は	



地震発生 時間経過別 行動マニュアル

- 最初の大きな揺れは約1分間**
- まず、身を守る
机の下などへ
 - すばやく火の始末
ガスの元栓、コンセント
 - 非常脱出口の確保
ドア、窓を開ける
- 1~2分**
揺れがおさまったら
- 火元を確認
火が出たら、落ち着いて初期消火
 - 家族の安全を確認
 - 靴をはく
家の中はガラスの破片が散乱
 - 避難するときは、屋根がわら・ブロック塀・自動販売機に注意
 - 津波、山・かけくずれなどの危険が予想される地域はすぐ避難
- 3分**
みんなの無事を確認
火災の発生を防ぐ
- 出火防止・初期消火
 - ろうでん・ガスもれに注意
ガスの元栓・電気のプロセッサーを切る
 - 消火器を使う
 - バケツリレーだ
風呂の水はため置きをする
- 5分**
ラジオなどで正しい情報を
- 隣近所に声をかけよう
 - 隣近所で助け合う
 - 行方不明者はいないか
 - けが人はいないか
 - 大声で知らせる
 - 救出・救護を
 - 防災機関・自主防災組織の情報を確認
 - デマにまどわされないように
 - 避難時に車は絶対に使用しない
 - 電話は緊急連絡を優先する
- 10分**
数時間
- 水、食糧はたくわえているものでまかなう
3日間の飲料水と食糧の備蓄をしておく
 - 災害情報・被害情報の収集
 - 無理はやめよう
 - 助け合いの心が大切
 - こわれた家に入らない
- 3日**
協力して消火活動、救出・救護活動を

こんな前ぶれがあったら早目に避難

土石流 <p>土・石・砂などが集中豪雨などの大量の水とまじり合って、津波のようにはびこる土石流です。</p>	<p>山鳴りや立ち木の裂ける音、大きな石の流れる音が聞こえる。</p>	土砂入り川 <p>粘土などのすべりやすい土に地下水が作用し、上流の地面がそっくりすべり落ちるの地すべりです。</p>	<p>わき水や井戸水が濁る。</p>
<p>雨が降り続けているのに川の水位が下がる。</p>	<p>川水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。</p>	<p>地面にひび割れができる。</p>	<p>斜面から水が吹き出す。</p>
<p>雨により地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちるの山崩れ・かけ崩れです。</p>	<p>かけ崩れ</p>	<p>雨により地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちるの山崩れ・かけ崩れです。</p>	<p>かけ崩れ</p>

凡例		
マーク	名称	説明
	警察署・交番 駐在所	●事件・事故は110へ ●その他のお問い合わせは475-0110へ
	コミュニティ 防災資機材倉庫	災害発生時に利用できる防災資機材が保管されています。
	防災行政無線	災害発生時には、市役所・消防署から情報をお知らせします。
	防火水槽	お近くの防火水槽を日頃から確認しておきましょう。
	災害弱者施設	保育所・幼稚園、社会福祉施設、観光施設など、災害発生時の避難が不自由な方が利用する施設です。
	災害物資輸送拠点 集積場所	災害発生時の緊急物資の輸送・集積拠点です。
	臨時ヘリポート	災害時には負傷者の搬送や緊急物資の輸送拠点となります。
	地すべり危険区域	「土砂災害危険箇所区域図」(平成16年・富山県防衛課作成)に基づき、想定される土砂災害ごとに危険区域を示しています。
	かけ崩れ危険区域	
	土石流危険区域	